

- 2008年(後半)
- 【8月】
- 8・8 読谷闘牛総会、「けいこ通信」35号発行
 - 8・12 「今こそ那覇市政を変えよう！平和とくらしを守る市民の会」結成総会と平良長政事務所開き
 - 8・13 沖縄愛楽園訪問の外添厚生労働大臣と懇談
 - 8・18 沖縄フィンランド協会役員会
 - 8・19 神森中学校校内研修で講演、2008連合沖縄政策討論集会
 - 8・20 第72回社大党定期大会
 - 8・21 沖縄県農業経営危機突破生産者大会、「米軍ヘリ墜落事故4年 動かせ 普天間！許すな県内移設！8・21抗議集会」
 - 8・22 タイラ長政選対本部幹事会、対馬丸慰霊祭、自治労沖縄県本部議員懇談会2009年度総会、後期高齢者医療制度の廃止を求める県民集会
 - 8・25 さとうきび政策支援要請の陳情、那覇市内で「フィンランドの教育」についてレクチャー
 - 8・31 クリニクラウン(臨床道化師)フォーラム2008(大阪市)
- 【9月】
- 9・7 西原町長選挙上間明さん当選、平成20年久米島文化講座
 - 9・10 サルバドール・ダリ企画展、社大党執行委員会、タイラ長政激励パーティ、「自殺実態白書」ヒヤリング
 - 9・12 社大党県庁要請行動(不発弾処理、旧軍飛行場問題)、各団体あいさつ回り
 - 9・14 第9回キンボールジャパンオープンフレンドリーカップ開会式
 - 9・17 琉球新報社・池宮城秀意記念賞受賞パーティ
 - 9・19 沖縄県肢体不自由児協会設立50周年記念式典・祝賀会、沖縄タイムス創刊60周年記念パーティ
 - 9・20 女性議員を増やそうネットワークにいがた公開セミナーで講演(新潟市)
 - 9・21 同志社大・浅野健一ゼミ生と懇談
 - 9・24 第170回臨時国会開会、本会議(首班指名)
 - 9・27 照屋寛徳後援会「本部事務所」開き、9・29 県民大会決議実現へ向け集会、平良さんと議会報告会・講演会、アラ川秀清激励パーティ
- 【10月】
- 10・1 伊波ひでき後援会事務所開き
 - 10・4 タイラ長政さんを励ます女性の集い、タイラ長政真和志北事務所開き、チームおきなわ勉強会
 - 10・9 瑞慶覧テニスコート後援会本部事務所開き、タイラ長政政治資金パーティ
 - 10・11 全国フィンランド友好団体協議会、秋田県フィンランド協会創立30周年記念パーティ・交流会(北秋田市)
 - 10・12 世界遺産・白山山道を視察
 - 10・14 タイラ長政・伊波ひできさんと農産市場・与儀公園、国際通りを街頭宣伝
 - 10・18 タイラ長政那覇市長選挙政策発表、「学力ってなに」シンポジウム
 - 10・21 国際反戦デー沖縄県集会、大宜味村郷友会
 - 10・25 釧路9条連の平和集いで講演(釧路市)
 - 10・26 うないフェスティバル
 - 10・27 伊波ひできさんを応援する女性たちの集い、タイラ長政街頭演説会
 - 10・28 米軍軽飛行機墜落事故に抗議する社大党行動(防衛局、米領事館、外務省沖縄事務所)
 - 10・30 市長選公開討論会、タイラ長政首里支部総決起大会
- 【11月】
- 11・1 係数けいこ国政報告会、FMよみたん開設セレモニー
 - 11・2 泰期像モニュメント除幕式、久米島郷友会女性部第8回素人演芸会
 - 11・3 「元那覇市役所建設予定地からまちづくりを考える市民の集い」で超高層マンション群計画地包囲行動
 - 11・5 タイラ長政総決起大会
 - 11・9 那覇市長選挙、市議補選告示、タイラ長政出発式、伊波ひでき出発式
 - 11・13 伊波ひでき総決起集会
 - 11・14 沖縄バスOB会
 - 11・16 那覇市長選挙、市議補選投・開票日
 - 11・20 内閣委員会(消費者行政について質問)、文科省へ「沖縄戦教科書検定問題」で要請
 - 11・22 離島フェア2008
 - 11・25 「慰安婦」問題の早急な解決を求める院内集会、同デモ
 - 11・26 本会議、フィンランドの夕べ
 - 11・27 内閣委員会(泡瀬干潟問題で質問)、沖縄県私立保育園連盟陳情
 - 11・28 本会議(党首討論ののち12・25まで会期延長)
- 【12月】
- 12・1 社大党と市民の意見交換会
 - 12・4 沖縄県教職員組合陳情、県私学連盟陳情
 - 12・5 本会議、泡瀬干潟問題議員学習会、玉城デニーさん激励パーティ
 - 12・6 第439回沖縄大学土曜教養講座「カジノは沖縄に何をもたらすのか」
 - 12・7 とう山勝利さん事務所開き
 - 12・8 1フィート運動25周年平和の集い
 - 12・12 本会議(金融強化法、新テロ法一院再議決)
 - 12・15 フィンランド教育視察ツアー最終説明会
 - 12・19 明治大学学生との懇談会、本会議
 - 12・22 社大党執行委、同忘年会
 - 12・25 第170回国会閉会

島袋宗康後援会会長あいさつ
政権交代の年に



係数慶子後援会の皆様、あけましておめでとうございます。

昨年は那覇市長選挙と市議補欠選挙において多大なご支持とご支援をいただき感謝申し上げます。市長選において野党共闘の候補者である平良長政さんを市長に送り出せなかったことは誠に残念でした。しかし、市民本位の市政を訴え、新都心の高層マンション建設に伴う市有地の売却問題や医療、福祉などの市民生活を第一として掲げた政策は一定の評価を得たものと確信しています。

新年に際しては、後援会のより一層の拡充と親睦を図り、沖縄の抱える諸問題や課題に取り組み、係数慶子の国会活動を支えていきます。また予想される総選挙においても自公政権にノーを突きつけ、政権交代に向け後援会の力を結集したいと思っております。

2009年が会員の皆様にとってご多幸の年となりますよう祈念いたします。

記者のメモ

学力世界一の施策紹介



○…那覇市内で1日に開いた国政報告会で、フィンランドの教育事情を紹介した係数慶子参院議員(無所属)。「フィンランドでは子どもは国の財産。手厚い予算措置で教育を充実させている。保護者の経済的な格差で、子どもの教育に格差が生じてはいけないとして、国を挙げて取り組んでいる」と学力世界一の施策を説明した。対する日本では、生活の格差が拡大し、教育の機会も格差が広がっていることを強調。「子どもを安心して産み、育てられる政治に変えよう」と訴えていた。

沖縄タイムス2008年11月4日

記者のメモ

傍観者の態度許せず



○…泡瀬干潟埋め立てをめぐる那覇地裁判決を受け、参院内閣委員会で事業の是非について国の見解をただした係数慶子参院議員(無所属)。再三の質問にもかかわらず、内閣府が「被告である県や沖縄市の対応をみて検討する」と同じ答弁に終始し、「木で鼻をくくったような答弁。傍観者の態度は許せない」と憤る。基地問題でも似たような煮え湯を飲まされてきただけに「地元住民の思いを受け止めるのが行政の務め。どこを向いて仕事しているのか」と平ばあきれ気味。(東京)

沖縄タイムス2008年12月1日

編集後記

あけましておめでとうございます。2009年は、自公政権に終わりを告げ、新たな政権を誕生させる年にしたいと念じています。政治を変え、不況、倒産、解雇の嵐を乗り越えていきましょう。(和雄)

けいこ 通信
Keiko

2009年1月発行 No.36 新春号

発行：係数けいこ後援会

【沖縄事務所】〒900-0021 那覇市泉崎2-1-5-202
TEL: 098-835-4670 FAX: 098-835-4672
【国会事務所】〒100-8962 千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館609号室
TEL.03-3508-8609 FAX.03-5512-2609

itokazu@i-keiko2007.sakura.ne.jp
www.itokazukeiko.com



12月6日、第439回沖縄大学土曜教養講座「カジノは沖縄に何をもたらすのか」にパネリストとして参加し、国会の動き、マカオの視察報告を行いました。

あけましておめでとうございます
旧年の後半は那覇市長選と市議補選があり、後援会の皆様をはじめ那覇にお住まいの皆様には多大なご支持、ご支援をいただきました。選挙は残念な結果となりましたが、今後ともに市民本位の市政運営のためご理解とご協力を賜りたいと思います。

国政においては、あの方が登場いたしました。「選挙の顔」として颯爽と現れたのですが、選挙はしない、経済対策も不十分というわけで、国民から見放され、いまや政権末期の様相を呈しています。

一つひとつ挙げていきますと枚挙にいとまがありませんが、選挙目当てのバラマキとされる定額給付金の「迷走」、道路特定財源の一般財源化の「後退」、郵政民営化の株式売却の「凍結」など、政策決定をめぐる「朝令暮改」が続きました。併せて国民生活からかけ離れた失言や漢字の誤読など、一国の首相としての資質が問われるはめに陥っているのです。

新しい年は、遅かれ早かれ総選挙があります。もちろん、経済対策を最優先に国民の生活を守る、特に非正規社員の雇用を確保することも最重要課題ですが、この麻生自公政権を一日も早く終わらせ、国民の信任を受けた政権を誕生させるべきです。そして、この国のあり方、

進路を明確に示し、政策を実行していくことこそが国民、県民の切なる願いなのです。県民の良識ある選択に期待いたします。

県内においては在日米軍の再編が加速するでしょう。絶対に新しい米軍基地を造らせてはいけません。この基地建設を許せば沖縄は恒久的な米軍の軍事拠点となります。さらに自然環境の保全のため泡瀬干潟の埋め立てを阻止しなければなりません。

またカジノ導入の是非をめぐる論議も活発化するでしょう。道州制も極めて重要なテーマです。教育への取り組みも大切です。2月には三度、教育立国・フィンランドを訪れ、勉強をしてきます。

2009年の新たな年、沖縄の未来を担う様々な課題や問題が山積しています。そこにおいて最も重要なのは県民のコンセンサスです。沖縄のことは県民のコンセンサスを得て決める。そのためにも沖縄の明日に向けた不断の努力を重ねていきたいと思っております。

末尾となりましたが2009の丑年が皆様にとって幸多き年となりますようお祈りいたします。

2009年 元旦
参議院議員 係数慶子

カジノ 泡瀬干潟 道州制
県民のコンセンサスを！